

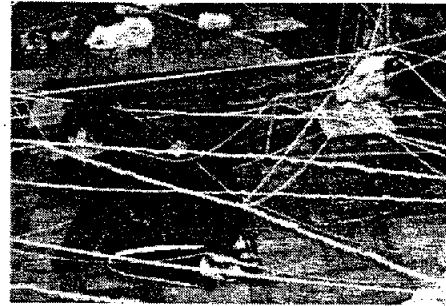
(2) 場の設定の工夫

広い教室を用意したことで思い存分体を動かす活動ができた。いす、蛇口など毛糸を結ぶ場所も数多くある図工室である。さらに壁に針金をはったり、脚立を置いたりしたことで、毛糸の張り方に変化と工夫がなされる手助けとなった。針金の途中にいくつもテープをはっておき、毛糸が横にずれることを防いだ。



(3) 友との関わり

個々で始まる追求であるが、他の子が張った糸にかけざるを得なくなり、自ずから関わりが深まり、自分一人の表現意図を超えた大きな協同制作となった。



○課題

創意工夫や造形的な美しさへの気づきを机間指導の中でとらえ、振り返りの場面で紹介、発表し合うことができるとさらに授業が深まる。

4 来年度への課題

本年度のように、授業者の日頃の課題意識から出発した研究を行い、参観者にとって明日からの授業に生かしたいと思えるような工夫や題材の提案ができるようにしていきたい。